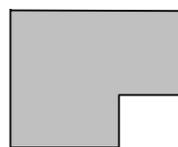
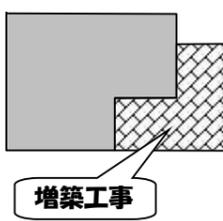
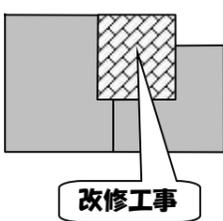
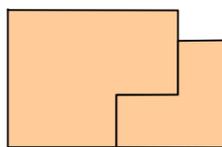


記入方法

別記 1

法第90条の3を含む場合は、「(工事計画書)」と記入して下さい

安全計画書(工事計画書)				Ⅲ 基本的な施工計画	
I 工事計画概要				1 工事施工手順の概要(概念図)	
1 工事名称				<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">工事の全容を概念的に示して下さい</div> <div style="text-align: right;"> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 5px;"> <div style="width: 20px; height: 10px; background-color: #cccccc; margin-right: 5px;"></div> 仮使用部分 </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="width: 20px; height: 10px; background: repeating-linear-gradient(45deg, transparent, transparent 2px, #cccccc 2px, #cccccc 4px); margin-right: 5px;"></div> 工事部分 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>現況図</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>第1期</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>第2期</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>完了</p>  </div> </div> </div>	
2 工事場所					
3 工事種別					
4 建物概要	イ 用途	□ 構造			
	ハ 高さ	軒の高さ () m ・ 最高の高さ () m			
	ニ 階数	地上 () 階 ・ 地下 () 階 ・ 塔屋 () 階			
() 内は既存部分の数値 ホ 建築面積 () m ²		ヘ 延べ面積 () m ²			
5 昇降機・建築設備又は工作物の概要	左記の避難経路等に係る工事がある場合にその内容を明記して下さい			2 工事区画の位置及び構造	
Ⅱ 仮使用認定申請部分				3 工事行程	
仮使用部分の概要を明記して下さい				別添図面に(工事区画の位置は朱線で)表示 図面上に仕様及び構造(耐火・準耐火・防火等)を明記して下さい 別添工事工程表に表示 全工程内に仮使用部分と工事部分の手順と期間を示して下さい	
1 仮使用部分	別添図面に黄緑色で表示				
2 用途			3 申請面積	概ね m ²	
(注 意) (例) 来客用駐車スペースの確保に努める。 図面上に位置及び台数を明記して下さい 敷地外に設ける場合は、付近見取り図を添付して下さい				4 工事用資材等の搬出入及びその管理方法	
				(例) 別添図の如く工事施工範囲と、仮使用部分の区画を明確にする 工事用資材等の搬入経路を矢印で表示。工事用動線と建物を使用する者との動線が区分されていることを表現して下さい 可燃用資材は、必要最小限の搬入とし、分散して保管する 工事現場内の、整理・整頓に心がける等	

IV 工事により機能の確保に支障を生じる避難施設等，その他の安全施設等及びその代替措置等

	種 類	箇 所	工 事 期 間 及 び 時 間	代 替 の 措 置 の 概 要	管 理 の 方 法
<p>1</p> <p>避 難 施 設 等</p>	<p>イ 廊下その他の通路</p> <p>ロ 直通階段等</p> <p>ハ 地下道等</p> <p>ニ スプリンクラー設備等</p> <p>ホ 排煙設備</p> <p>ヘ 非常用の照明装置</p> <p>ト 非常用の昇降機</p> <p>チ 防火区画</p> <p>使用する部分において、支障をきたす項目のみに○をつけて下さい</p>	<p>支障の生じる階と、支障の内容・数等を明記して下さい</p>	<p>支障の実際に生じてる期間を明記して下さい</p>	<p>文章でその内容を明記して下さい(必要に応じ別図でも可)</p> <p>(イの例) 仮設間仕切によって、専用経路を確保</p> <p>(ロの例) 工事部分を1時間耐火構造で区画する</p> <p>仮囲いの出入口は、特定防火設備とする</p>	<p>危険を伴う作業等の、安全管理方法を明記して下さい</p> <p>(例) 作業員への連絡を徹底する等</p>
<p>2</p> <p>そ の 他 の 安 全 施 設 等</p>	<p>イ 消防用設備等 (1に含まれるものを除く。)</p> <p>ロ 非常用の進入口</p> <p>ハ その他</p>	<p>(イの例) 自動火災報知設備で仮使用部分全域</p>	<p>(イの例) 全工事期間中</p>	<p>(イの例) 仮設の感知器・火災報知器を設置する</p>	

一時的に使用又は集積される最大量を記入
(工事期間中に使用される合計ではありません)

V 出火危険防止（火災発生のおそれのものに限る。）						
	種類	数量	使用、設置場所	使用、持込み期間及び時間	集積又は設置方法	管理の方法
1 火 気 使 用	<p>裸火等を使用する機器を明記して下さい</p> <p>(例) ガス切断機 トーチランプ アスファルト溶融釜</p>	<p>(例) 2組 3組 1組</p>	<p>別図に記入するのが望ましいと思われます</p> <p>(例) 屋上 屋外仮設ヤード 各階</p>	<p>(例) 工事期間中等</p>	<p>集積物の散乱防止対策・自然発火・引火防止対策等について明記して下さい</p> <p>(例) 安定した平坦な場所で使用等</p>	<p>防火管理体制との関連等について明記して下さい</p> <p>使用責任者の表示 火気使用許可証の発行 使用時の巡回・点検等</p>
2 危 険 物 等	<p>イ 危険物</p> <p>消防法に定められている危険物を明記して下さい</p> <p>(例) 塗料・接着剤</p>	<p>(例) 200缶 (18缶入)</p>	<p>(例) 各階</p>	<p>(例) 仕上げ工事期間 躯体工事期間等</p>	<p>(例) 施錠できる平坦な一定場所に集積する 高積みをさける等</p>	<p>(例) 集積場所・集積量を指定する 使用責任者を表示 集積物の内容・量を表示等</p>
	<p>ロ 可燃性工事用資材</p> <p>(イ)以外の可燃物性の資材を明記して下さい</p> <p>(例) 木材・クロス・断熱材等</p>	<p>(例) 600㎡ 300㎡</p>	<p>(例) 外部 各階</p>		<p>同上</p>	<p>(例) 集積場所を指定する 搬入数量の把握</p>
3 機 械 器 具	<p>裸火等以外の機器で出火危険の恐れのあるものを明記して下さい</p> <p>(例) アーク溶接機 高速カッター</p>	<p>(例) 2器 3台</p>	<p>同上</p>		<p>同上</p>	<p>(例) 有資格者証携帯の義務付け 使用時の巡回・点検等</p>

90条の3を含む場合に記入して下さい

VI 防 火 災 予 防 管 理 体 制	1 火 災 予 防	イ 工 事 部 分 の 対 策 及 び 組 織	<p>防火管理者の火気使用状況の把握方法 火気使用時の防護措置方法及び消火設備等の設置状況 火気使用後の点検、点検結果の報告方法 喫煙場所の指定 時間外作業を行う場合の現場体制 防火管理者、防火担当者、火元責任者の選定</p> <p>等を明記してください</p>	2 災 害 発 生 時 の 対 策 及 び 自 衛 消 防 組 織	<p>火災発生時の通報体制及び初期消火、延焼防止等の活動体制 避難誘導體制及び避難経路の確認方法 自衛消防組織表及び任務概要</p> <p>等を明記して下さい</p> <p>*地区隊・係については、現場の状況に応じて、編成すること。</p>
		ロ 使 用 部 分 の 対 策 及 び 組 織	<p>火気使用器具の指定場所以外での使用禁止 避難施設(階段、廊下等)の適正な維持管理方法 工事部分との区画付近での可燃物の整理方法 防火管理者、防火担当者、火元責任者の選定</p> <p>等を明記して下さい</p>		
	3 使 用 部 分 の 体 制 と 相 互	<p>安全協議会の設置及び運営方法 防火管理者間の日常における相互通報連絡方法 火災発生時の報知方法 夜間時の緊急連絡先一覧表の作成</p> <p>等を明記して下さい</p>			
	4 教 育 ・ 訓 練 の	<p>定期的な防災訓練の実施方法 日常の防災教育方法(使用部分の従業員及び工事部分の作業員) 使用部分の従業員に対する火気使用作業日程の周知方法</p> <p>等を明記して下さい</p>			